

1 事業名

平成28年度 教育事業 「体験の風をおこそう」運動協賛事業  
親子で楽しむ大学探検隊～小学生のオープンキャンパス～

2 趣 旨（事業の目的）

子供たちとその保護者が、大学で行われている講義・実験・ものづくりなどのプログラムを体験し、大学生と交流することにより、学ぶことの目的や科学の楽しさを知るとともに、将来についての考えを深めるきっかけの場を提供し、地域・日本・世界の未来を担う人材を育む。

3 期 日 平成28年12月3日（土）～4日（日） 1泊2日

4 参加者 岩手県内の小学4年生から6年生までの児童とその家族 33家族85名

5 共 催 国立大学法人岩手大学 三陸復興・地域創生推進機構  
みちのく「体験の風をおこそう」運動推進協議会

6 後 援 盛岡市教育委員会，滝沢市教育委員会

7 内 容

（1）日 程

【第1日目 12月3日（土）】

時 間	活動内容・会場
10:30-11:00	受付（岩手大学）
11:00-11:15	開講式
11:20-11:50	講義1 大学ってどんなところ？ 「岩手大学概要」
12:00-13:00	昼 食 学生食堂を体験しよう（岩手大学中央食堂）
13:00-13:50	講義2 どんな勉強をしているのかな？ 「どうしてもだまされる！？トリックアートの心理学」
14:00-14:50	演習1 大学を見てみよう！ 「大学見学」
15:00-15:50	演習2 どんな研究をしているのかな？ 「動物のお医者さんの研究を見てみよう！」
16:00	バス移動（国立岩手山青少年交流の家へ）
16:50-17:05	交流の家オリエンテーション
17:30-18:20	夕食（国立岩手山青少年交流の家レストラン）
18:30-19:20	大学生との交流・音楽体験（岩手大学管弦楽団演奏会・楽器体験）
19:30-21:00	入浴・就寝準備
21:00	就寝

【第2日目 12月4日（日）】

時 間	活動内容・会場
6:30	起床・荷物整理・清掃
7:00	朝のつどい
7:15-8:20	朝食・清掃
8:30	バス移動（岩手大学へ）
9:15	岩手大学着
9:30-12:00	演習3 大学の研究室を体験してみよう！「科学実験教室」 （理工学部 物理・材料理工学科、化学・生命理工学科、システム創成工学科の各研究室）
12:10-12:30	閉講式・修了証書授与
12:30	解散（岩手大学）

(2) 講師及び指導者

国立岩手山青少年交流の家	所長	松田 栄二
岩手大学	理事（総務・企画・評価担当）・副学長	小川 智 氏
岩手大学三陸復興・地域創生推進機構	教授	今井 潤 氏
岩手大学人文社会科学部人間文化課程	教授	松岡 和生 氏
岩手大学学術研究推進部学術情報課	課長	竹谷 隆則 氏
岩手大学学術研究推進部学術情報課	主任	高橋 慶子 氏
岩手大学農学部共同獣医学科	特任研究員	山崎 弥生 氏
岩手大学理工学部物理・材料理工学科	准教授	山口 明 氏
岩手大学理工学部化学・生命理工学科	准教授	會澤 純雄 氏
岩手大学理工学部システム創成工学科	助教	高橋 克幸 氏

岩手大学学内カンパニー ECL (enjoy campus life)

岩手大学管弦楽団

国立岩手山青少年交流の家	次長	佐々木 浩
国立岩手山青少年交流の家	主任企画指導専門職	桑原 玲子
国立岩手山青少年交流の家	主幹兼総務係長兼管理係長	東 喜洋
国立岩手山青少年交流の家	副主任企画指導専門職	中田 春輝
国立岩手山青少年交流の家	企画指導専門職	鎌田 信浩
国立岩手山青少年交流の家	管理係主任	小綿 洸鋭
国立岩手山青少年交流の家	事業推進係主任	藤根 智子
国立岩手山青少年交流の家	事業推進係	佐々木 翔也
国立岩手山青少年交流の家	総務係	三浦 勇次郎
指導補助		法人ボランティア（3名）

(3) 企画のポイント

参加の親子が学ぶことや科学の楽しさを知ると共に、地域や国の未来を担う人材を育むよう、岩手大学三陸復興・地域創生推進機構と協力し、企画段階から連携してプログラムを検討した。

岩手大学の全ての学部「人文社会科学部」「教育学部」「農学部」「理工学部」から、教員や学生に講師を依頼し、2日間で2つの講義と3つの演習を企画した。また、宿泊場所を岩手山青少年交流の家とし、夜のプログラムでは岩手大学管弦楽団の学生による演奏会と楽器体験会を行い、大学生との交流を行った。楽器体験では普段ふれることができない弦楽器の体験も企画した。

(4) 広報のポイント

盛岡市、滝沢市の小学校に向けて、印刷所に発注した約14,000枚のチラシを配布するとともに、本施設のホームページを活用し、幅広く企画の周知を行った。また「岩手日報」に参加者募集の記事が掲載され、岩手県下に企画事業について周知することができた。

(5) 運営のポイント

1日目、開会行事後の最初の講義は、参加者に大学生活の様子を身近に感じてもらおうように、「学内カンパニーECL」代表の教育学部学生を講師に行った。岩手大学の学部やサークル、学生生活について、留学生との交流も交えながら自分自身の生活の様子を話すことで、参加者に伝わったようであった。大学教員による講義の体験では、人文社会科学部教授から「どうしてもだまされる!? トリックアートの心理学」と題して、小学生にも分かりやすい内容で講義を行った。トリックアートを聞いた心理学について話を聞いたり、絵や映像資料を見たりすることで参加者は時間を忘れて講義に集中していた。演習の大学見学では、2班に分かれて図書館等の施設見学とサークルの見学を行った。図書館は学生以外も自由に利用できることや、グループでディスカッションしながら利用するスペース（ラーニング・コモンズ）に驚きながら見学をしていた。サークル見学では、体育系の少林寺拳法部と文化系のアカペラサークルV O I V O I が活動を紹介した。夕方からは岩手山青少年交流の家に移動し、文化系サークルの岩手大学管弦楽団の演奏を聴いた後、大学生との交流と楽器体験を行った。楽器の体験コーナーでは、大学生の指導により様々な楽器の体験を楽しんでいた。

2日目は、理工学部の物理・材料理工学科、化学・生命理工学科、システム創成工学科の3

研究室で「科学実験教室」を行った。身の回りにある物で電池を作ったり，モーターの振動で動き回るおもちゃの「ゴキブリモーター」を作ったりした。また，数種類の溶液からサンドイッチ状の結晶を作る実験も行った。身近な物をテーマにした小学生にも分かりやすい実験に，参加者は時を忘れて夢中になっていた。

閉講式では，岩手大学の小川理事・副学長から修了証書が小学生一人一人に手渡され，2日間の日程を終えた。

## 8 成果とその普及

参加者からは，「大学は好きな勉強ができる場所。小学生にいろいろな夢を与えることができましたと思います。岩手大学に入りたいと子供たちが言うておりました。」「獣医学科は，研究する内容や専門性に驚きました。子供たちの夢である獣医の仕事を，より身近に感じることができましたと思います。」「夜の音楽体験がすごく楽しかったです。優しい学生さんたちが親切に教えてくれたし普段は触ることもできないような楽器をやってみることができて，すごく良い体験でした。」「子供はもちろんのこと，大人も楽しめました。いろいろな体験や実験ができ，とても良い経験になりました。」という感想が聞かれた。科学の楽しさや将来についての考えを深めるきっかけの場を提供することができた。

この取組が，地域課題である「低迷する大学進学率の向上」や「地元大学への進学を希望する子どもの増加につなげる」ことの一助になることが期待できる。

## 9 今後の課題

多くの機材が配置されている大学の研究室を見学するというので，参加する子供の年齢制限があるが，大学を会場に行う事業はニーズが高く，今回もたくさんの家族からの申し込みがあった。アンケートの満足度も高く，継続して事業を行って欲しい旨の自由記述も多く見られた。

研究室での活動は時間的な制約があり，3研究室中2研究室を体験することとしたが，全ての研究室を体験しなかったという不満が参加者から聞かれた。

今後も大学との協議を重ね，ニーズに応えられるようにしていきたい。



楽器体験の様子



科学実験教室



修了証書授与